

3 循環型社会形成への取り組み — ゼロエミッションへの挑戦 —

九州電力は、循環型社会の形成に向けて、廃棄物の最終処分量を限りなくゼロに近づける「ゼロエミッション」に挑戦しています。 [関連情報編 P62を参照](#)

- 産業廃棄物、一般廃棄物について、発生抑制 (Reduce: リデュース), 再使用 (Reuse: リユース), 再利用 (Recycle: リサイクル) の3Rを実践しています。
- 九電グループにおいても、古紙や機密文書、使用済蛍光灯など廃棄物のリサイクル、グリーン調達 の推進など、循環型社会形成に向けた取り組みを進めています。 [関連情報編 P80を参照](#)

1 社員の意識高揚

全社一丸となってゼロエミッションに取り組むため、社員の意識高揚を図っています。

- ゼロエミッションへの取り組みを分かりやすく解説した「環境ハンドブック」を全社員に配布しています。(2002年3月)
- ゼロエミッション推進ポスターを、オフィス(本店・支店)、営業所、電力所、発電所の事業形態毎に4種類作成し社員意識の高揚を図るとともに、お客さま向けにも作成し、営業所のお客さま受付窓口などに掲示しています。



- 社内公募した推進標語をゼロエミッション推進ポスターに掲載するなど、社員の意識高揚に活用しています。(1,212件の応募標語の中から社員2,406人参加の電子投票で選定)

■ゼロエミッション推進標語

最優秀賞	すてないで あなたの心と廃棄物
優秀賞	見直そう 少ない資源 地球の未来
優良賞	捨てない、混ぜない、汚さない、一人ひとりの心がけ
	分別で ゴミも資源に早変わり リサイクル 分けよう 減らそう 続けよう

2 産業廃棄物

事業活動で発生する産業廃棄物には、石炭灰、排煙脱硫装置の副産物である石こう、排水処理等から出る汚泥、金属くず、廃コンクリート電柱などがあります。

リデュースへの取り組み

火力・原子力発電所では、機器の点検周期延長による取替え部品(シール・軸受け・ガスケットなど)の削減や、機器潤滑油の交換周期延長による廃油の発生抑制を行っています。

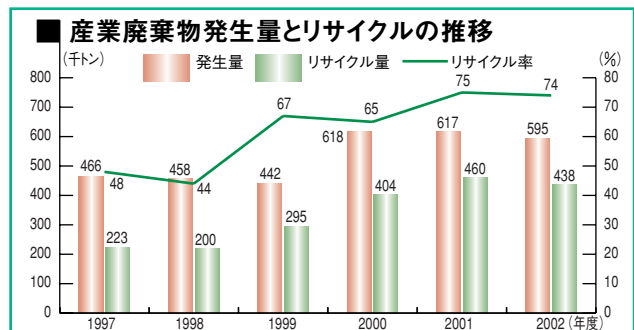
リユースへの取り組み

配電工事等で撤去した電力用資機材については、再使用に必要な性能、品質を有しているか等の判断をするために独自に設けた判定基準に基づいて、リユースの可否を適正に判断し、再使用可能なものや修理して再使用可能なものは、リユースしています。

リサイクルへの取り組み

2002年度の産業廃棄物は、全体で約59万トン発生し、2000年度以降は同程度で推移しています。

- 全体のリサイクル率は74%となり、2001年度と同程度となりました。
- 2002年度にリサイクルした約44万トンは、全国の最終処分量の約1%に相当する量です。
(日本の最終処分量は約4,500万トン、平成15年版環境白書より)
- 石炭灰のセメント製造原料としての活用拡大や汚泥、廃プラスチックなどのリサイクル向上により、2003年度は、総合リサイクル率95%以上を目指します。



■産業廃棄物の発生状況(2002年度)

	発生量 (トン)	リサイクル量 (トン)	リサイクル率 (%)
石炭灰	475,241	322,622	68%
重原油灰	745	738	99%
石こう	91,271	91,271	100%
汚泥	4,849	2,557	53%
廃油	1,908	1,846	97%
廃プラスチック	312	194	62%
金属くず	9,041	8,724	96%
廃コンクリート電柱	10,411	10,411	100%
ガラス・陶磁器くず	785	28	4%
特別管理産業廃棄物	13	0	0%
その他	87	32	37%
小計	119,422	115,801	97%
産業廃棄物 総合	594,663	438,423	74%

3 一般廃棄物

事業所で発生する一般廃棄物には、古紙、ビン、缶、ペットボトルや食堂から排出される生ゴミなどがあります。

リデュースへの取り組み

古紙については、両面コピーの実施、ミスコピーの防止、パソコンを活用した文書回覧などにより、発生抑制に取り組んでいます。その他、紙コップの使用を控えるなどの取り組みも行っています。

リユースへの取り組み

古紙の裏面利用や、ファイル等の事務用品のリユースに努めています。

リサイクルへの取り組み

◇古紙

古紙については、そのリサイクルルートの確認・確保を行い、2002年4月から全社一斉にリサイクル率100%に向けた取り組みを始めました。

- 2002年度は、各事業所で発生・回収した古紙1,781トンのうち、1,780トンのリサイクルに回しました。(残り1トンは焼却処分)

■古紙回収状況(2002年度)

	回収量(トン)
新聞	185
雑誌	74
ダンボール	105
機密文書	392
その他古紙*	1,025
合計	1,781

※その他古紙:コピー用紙,封筒など

- これにより、2002年度の古紙リサイクル率は、2001年度の約50%から約100%に向上しました。
- 回収した古紙の一部は、グループ会社の九州環境マネジメント(株)で、九州電力のロゴマーク入りのコピー用紙、紙ひも、トイレトーパーに再生されています。



回収した古紙で作った製品

◇その他一般廃棄物

その他一般廃棄物についても、リサイクルに向けた取り組みを行っています。

- 缶、ビン、ペットボトルについては、分別回収を徹底しています。
- 発電所で発生する貝類やダムの流れの有効活用や、食堂から出る生ゴミの減容化・堆肥化に努めています。
- 損耗した作業服は回収を行いリサイクルしています。



社員研修所に導入した生ごみ処理機

4 リサイクル事業への取り組み

九州電力は、グループ会社等と協力して、廃棄物のリサイクル事業を行っています。

使用済蛍光管リサイクル事業

「(株)ジェイ・リライツ」

- 回収された使用済蛍光管を分別・破碎した後、ガラス、金属、蛍光体等に分け、再資源化しています。
- 九電グループ各社も使用済蛍光管のリサイクルを推進しており、2002年度は「(株)ジェイ・リライツ」で約8万本をリサイクルしました。

破碎後に回収された原料



機密文書リサイクル事業

「九州環境マネジメント(株)」

- 機密文書を、回収(保管を含む)～機密抹消～溶解処理し、万全のセキュリティのもとで、リサイクルしています。
- 九電グループ各社も機密文書等のリサイクルを推進しており、2002年度は「九州環境マネジメント(株)」で約1,300トンをリサイクルしました。



セキュリティ施設で機密抹消された古紙

5 グリーン調達への推進

九州電力は、循環型社会形成に資する取り組みとして、従来から事務用文房具、OA機器消耗品、作業服などで環境に配慮した製品の優先購入を実践してきましたが、2001年度、その対象をすべての製品等と取引先企業に拡大するため「グリーン調達制度」を導入しました。[関連情報編 P64](#)を参照

- この制度は、製品等の調達において、品質、価格、納期などの従来からの評価に環境面での評価を加え、環境に配慮した製品等の調達推進や、取引先企業の皆さまとの環境活動面での連携強化を図るものです。
- 汎用品(事務用品等の市販品)については、エコマーク等の環境ラベルが貼付されるなど社会的に認知された製品を原則購入します。購入の基準となる個別ガイドラインを8分野(雑貨、家具・什器、電化製品、事務用品、その他消耗品、印刷、事務機器、被服)について策定しています。
- 電力用資機材についても、製品等の環境負荷低減に関する評価基準を定め、基準に適合した製品等の調達を推進することとしており、2002年度にこの評価基準を策定しました。

